# 0 87 52 75% 72 5 9

**HBA** 

日高軽種馬農業協同組合

**☎**0146-22-2258 FAX 22-3452

令和3年4月10日 **370** 第**3**70号

# 第50回総代会終了 全議案承認される

3月12日(金)午前10時30分より新ひだか 町公民館・コミュニティセンターにおいて、日 高軽種馬農業協同組合の第50回総代会が行わ れた。本人出席11名、書面決議による出席 117名の計128名(出席率81.0%)の出席に より総代会が成立。議案審議の結果、全7号の 提出議案が原案通り承認された。

本年の総代会は昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、関係団体等の来賓出席、JRA生産者団体表彰、JBBA特別指定競走会長賞の表彰式を取りやめるなど、規模を縮小しての開催となった。また、マスクの着用や来場した際の手指消毒、検温の実施をし、感染防止対策をおこなった。

総代会では、須崎副組合長より開会が宣言され、木村組合長の開会挨拶(2頁に全文掲載)の後、議事に入った。

議長については、長浜大介氏(新冠) 1名を 選出し議事進行を行った。迅速な進行が図られ 50分程度で終了したが、出席した総代からは 診療体制のことについて、繁殖牝馬導入につい て、草地改良についてなどの質疑があった。

提出された議案は次の通り。

- 1. 令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
- →原案通り承認
- 2. 定款の一部変更について

- →原案通り承認
- 3. (定款附属書) 役員選任規程の一部変更に ついて
- →原案通り承認
- 4. 令和3年度事業計画並びに収支計画について
- →原案通り承認
- 5. 令和3年度賦課金および賦課徴収の方法について
- →原案通り承認
- 6. 役員報酬の支給について
- →原案通り承認
- 7. 系統団体等に対する出資・出えんについて →原案通り承認



挨拶をする木村組合長

# 第50回総代会組合長挨拶

皆様、おはようございます。第50回総代会を開催するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。総代の皆様におかれましては、繁殖シーズンの大変ご多忙のところ、ご出席を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。また、日頃より組合運営につきまして、多大なる指導、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本来でありましたら、ご来賓各位をお招きのうえ、ご祝辞を頂戴して総代会を開催する運びのところでございますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、本総代会につきましては、規模を縮小し、表彰式等の開催並びにご来賓のご出席を取りやめさせて頂くことと致しましたので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

また、例年各地区振興会総会の際に開催させて頂きました地域懇談会につきましても、感染症の状況に鑑み、本年は休止とさせて頂くこととなりましたことを重ねてお詫び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により、世界全体が未曾有の苦境に立たされる一年となりました。

詳細につきましては、議案に記載しておりますので省略させていただきますが、北海道市場においても、トレーニングセールの開催中止を決定する止むなきに至り、組合員始め上場者の皆様、購買者並びに飼養者の皆様に多大なるで迷惑をお掛け致しましたことに対し、心より深くお詫び申し上げます。このようななか、昨年度の北海道市場は、セレクションセール及び中マーセール、セプテンバーセール、オータタマーセール、セプテンバーセール、オータムと、いずれの市場も大変な盛況のもととでは、いずれの市場も大変な盛況のもととなりませて頂き、売上総額127億8233万円と過去最高を記録することとなりました。購買者、上場者始め関係者皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

市場開催にあたりましては、感染症情報に連 日注視しつつ、有効な手段を模索しながら最大 限の感染防止対策に努めるとともに、関係者の みならず地域の皆様のご理解とご協力を賜りな がら開催させて頂き、改めて感謝申し上げます。

競馬について見ますと、昨年はコントレイル 号による無敗の3歳牡馬三冠達成、デアリング タクト号による同じく無敗による3歳牝馬三冠 達成という歴史的快挙に代表されるように、日 高産馬が大いに活躍した年となりました。活躍 馬を生産されました組合員の皆様方に心よりお 祝い申し上げます。

全国の競馬場が無観客主体の開催を余儀なくされるなか、中央競馬については、売得金が2兆9834億円と前年比103.5%となり、9年連続で売上増となりました。地方競馬についても、売得金総額8632億円(前年比128.0%)となり、全主催者が売上増を達成しております。また、ホッカイドウ競馬については、520億4480万円と過去最高の発売記録を更新しております。

組合事業につきましては、お陰様で各事業とも計画通りの決算を迎えることができました。 詳細については、議案にてご説明させて頂きますが、昨年に続き、剰余金処分案として事業分量配当(利用割戻)についてご提案させて頂きます。

診療事業については、新たに獣医師を採用致しましたが、退職もあり、引き続き技術員の確保に努め、二次診療の再開に向けた準備を進めているところでございます。組合員の皆様には、いましばらく、お時間を頂きたくお願い申し上げます。

昨今の労働力不足、後継者・高齢化問題については、軽種馬生産界が抱える重要な課題であり、関係機関と連携して対応について協議をおこなっております。国内外の人材が短期間の研修を終え、生産業務に従事できるよう、日高軽種馬振興対策推進協議会と連携し、旧門別種馬場施設を活用した研修施設に引退競走馬を受け入れ、効率的な研修を行なえるよう準備を進めております。

後ほど議案にて詳細についてご説明致しますが、令和3年度事業につきましては、大きな変更を行なわず、事業を遂行して参りたいと考えております。また、特に市場開催においては、感染症の防止対策について、徹底した対応にあたって参ります。

最後になりますが、上程しております全議案につきまして、総代皆様のご審議を賜り、有意義な総代会にして頂きたくお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせて頂きます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 令和2年度 JRA生産団体表彰· JBBA特別指定競走会長賞 表彰者一覧

例年、総代会での表彰式を執り行っているが、新型コロナウイルス感染防止対策のため本年も取りやめとなった。本年は、コントレイル号とデアリングタクト号がそれぞれ無敗による3歳三冠を達成という歴史的快挙を成し遂げたことを筆頭に、オジュウチョウサン号が中山グランドジャンプの5連覇達成、NAR所属のサブノジュニア号がJBCスプリントを制すなど、日高産馬が大いに活躍した年だった。

なお、JRA生産団体表彰・JBBA特別指定競 走会長賞の受賞者は右、下記の通りとなってい る。

#### 令和2年度 JRA生產者団体表彰(敬称略)

第1位	胆振軽種馬農協	
第2位	第2位 新冠町軽種馬生産振興会	
第3位	門別軽種馬生産振興会	

#### 令和2年度 JBBA特別指定競走会長賞

(敬称略)

地区	生産者名	馬名	優勝レース名
静内	(有)グランド牧場	メイショウダッサイ	第143回中山大障害
	(有)藤沢牧場	サブノジュニア	第20回JBCスプリント
	(有)フジワラファーム	ワイドファラオ	第32回かしわ記念
新冠	(有)大狩部牧場	アランバローズ	第71回全日本2歳優駿
	(有)須崎牧場	アルクトス	第33回マイルチャンピオンシップ南部杯
	(株)ノースヒルズ	コントレイル	第80回皐月賞
			第87回東京優駿(日本ダービー)
			第81回菊花賞
門別	(有)長谷川牧場	デアリングタクト	第80回桜花賞
			第81回優駿牝馬(オークス)
			第25回秋華賞
	ダーレー・ジャパン・ファーム(有)	ファッショニスタ	第10回JBCレディスクラシック
平取	(有)坂東牧場	オジュウチョウサン	第22回中山グランドジャンプ

#### 昌 紹 新 入 職 介



### 理事会の内容について

【第4回理事会】

◇令和3年3月15日 10時30分 静内支所

〈報告事項〉

- 1. 第1回業務・配合委員会の内容について
- 2. 第3回市場委員会内容について

〈議 案〉

1. 理事報酬の支給並びに支給方法の決定につ いて

〈協議事項〉

1. その他

# 人事異動のお知らせ

【退職】

在職中は大変お世話になりました 〔3月31日付〕

鎌田 友香

総務部競走馬のふるさと日高案内所係

池本 知美

総務部総務課総務係

中山 結衣

北海道市場事業部市場課庶務係

氏名 山下 以芙伎 (写真 左より1番目)

総務部門別支所庶務係(4月1日より) 配属

抱負 いち早く仕事を覚えて地域に貢献できる ような社会人を目指して頑張っていきま す。

兼田 雄基(写真 左より2番目) 氏名

総務部総務課総務係(4月1日より) 配属

皆様の役に少しでも立てるように頑張り 抱負

ますので宜しくお願い致します。

電澤 聖菜(写真 中央) 氏名

配属 北海道市場事業部市場課庶務係(4月1日より)

抱負 早く仕事を覚え、役に立てるような人材 になれるよう日々努力します。

かみがき あゆみ 神垣 歩 (写真 右より2番目) 氏名

配属 総務部競走馬のふるさと日高案内所(3 月1日より)

抱負 1日でも早く仕事を覚えられるよう頑張 ります。よろしくお願いします。

氏名 山際 削子(写真 右より1番目)

配属 業務部業務課業務係(2月1日より)

1日でも早く仕事を覚え、皆さんのお役 抱負 に立てるように頑張りたいと思います。

【契約採用】

〔3月1日付〕

神垣 歩 (かみがき あゆみ) 総務部競走馬のふるさと日高案内所係

[4月1日付]

兼田 雄基 (かねた ゆうき) 総務部総務課総務係

鶴澤 聖菜(つるさわ せいな) 北海道市場事業部市場課庶務係

山下 以芙伎(やました いぶき) 総務部門別支所庶務係

村上 善己(むらかみ よしみ) 日高地域活性化支援室出向

# セレクションセール取引馬が重賞で大活躍

セレクションセール取引馬が春の阪神競馬場で大活躍だった。メイショウダッサイ号が阪神スプリングジャンプを、シゲルピンクルビー号がフィリーズレビューを、ディープボンド号が阪神大賞典をそれぞれ勝利し、GIの大一番へと弾みをつけた。

メイショウダッサイ号は(有)グランド牧場(静内)の生産馬。父にスズカマンボ、母にスズカブルーム、いとこにサンビスタを持つ血統。2014年セレクションセールに上場され1,134万円(税込、以下同)で落札された。これまでに障害重賞を3勝、昨年の中山大障害で初のGI勝利をしJRA賞最優秀障害馬に選出されていた。

シゲルピンクルビー号は(有)天羽牧場(門別)の生産馬。父にモーリス、母にムーンライトベイ、姉にシゲルピンクダイヤを持つ血統。2019年セレクションセールにて3,024万円で姉と同じく森中 蕃氏によって落札された。この日はデビュー3戦目。新馬勝ちをした舞台で8番人気の低評価を覆しての嬉しい重賞初勝利だった。

ディープボンド号は(有)村田牧場(新冠)の生産馬。父にキズナ、母にゼフィランサス、いとこにローレルゲレイロを持つ牧場馴染みの血統。2018年セレクションセールに上場され1.782万円で父のオーナーでもあったノースヒルズの前田幸治氏によって落札された。これまで京都新聞杯を勝利し、ダービー5着、菊花賞でも4着と大舞台でも堅実な成績が目立っていたが、この日は5馬身差の圧勝だった。

今月下旬、セレクションセール実馬検査がおこなわれる。珠玉混合の申込馬の中にはこの3頭のような後の重賞勝ち馬も眠っているかもしれない。

本年のセレクションセールは、7月26日(月)に前日展示、7月27日(火)にセリの日程での開催予定をしている。

# 第27回装蹄競技大会が開催される

3月29日(月)午前7時30分よりJRA日高育成総合施設内軽種馬装蹄所にて「北海道日高装蹄師会第27回装蹄競技大会」が開催された。

これは、北海道日高装蹄師会が毎年この時期に主催している競技大会で、10月に開催される全国装蹄競技大会の予選を兼ねている。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となったが、本年は来賓の出席や表彰式の取りやめ、消毒、検温等の感染予防対策が徹底された中での開催となった。

本大会からは5名に全国装蹄競技大会への出場権が与えられるが、出場選手が5名(オープン参加 1名を除く)であったため今大会については、全国装蹄競技大会への出場基準が設けられた。結果は、 出場選手5名全員が基準を突破し全国装蹄競技大会への出場権を獲得した。 成績については下記の通り。

優勝:大東 正史(浦河町)2位:岡本 昴昌(浦河町)3位:茂 貴紀(浦河町)単独造鉄部門:大東 正史装蹄判断部門:大東 正史装蹄部門:大東 正史

4位:尾崎 智久(苫小牧市) 5位:佐竹 政人(浦河町)

# 馬獣医のよもやま話86 前田昌也獣医師

# 「ロカゴ」の準備

#### 静内診療所 前田昌也

繁殖シーズンを迎えお忙しい毎日をお過ごしかと思います。この時期限定の話ではありませんが、日頃の診療で「ロカゴ」を持っていない牧場さんが意外に多いので、使用する例についてお話しようと思います。

#### · 急性腹症(疝痛)

口カゴを着用させるケースと言えばまずこれが浮かぶと思います。「治療してもらってすっかり良くなった」とすぐに給餌されることがありますが、ウマの急性腹症の教科書では臨床症状の喪失から最低12時間、可能なら24時間給餌を避けるべきとされています。これを実現するには口カゴは不可欠です。給餌再開後も時間をかけて段階的に給餌するべきで、引き続き時間を決めた口カゴの着用が必要です。

#### ・食道梗塞(ノドづまり)

意外と軽視されていますがノドづまりで予後不良になったウマは実際にいます。ノドづまりから誤嚥性肺炎を継発する例はとても深刻です。発症時、(食べ物が詰まっていそうな)首の膨らんでいる部分を手で揉んで解消させすぐに給餌すると容易に再発することがあり、この場合食道粘膜への潰瘍形成を疑う必要があります。内視鏡検査で正確に食道粘膜の病状を把握し、潰瘍が治癒するまでは口カゴ着用でしっかりと絶食させる必要があります。治癒経過も同様に内視鏡検査が必要になります。

#### ·新生児溶血症(黄疸)

産駒が黄疸症状を示した履歴のある繁殖牝馬 は翌年以降もそのリスクが高く、新生子馬には 乳汁を吸わせないようにしなければなりません。



https://www.equus.co.uk/products/

最低でも初乳の免疫が吸収される出生後24時間は口力ゴ着用で断乳しなければなりません。 断乳中は他馬の乳汁か人工乳のみの給与となります。母親初乳の糖度低下を観察しながら授乳を再開させることになりますが、48時間断乳後の発症例もあり、再開後も黄疸症状を示さないか観察しなければなりません。

#### · 蕁麻疹

口カゴを使用するほどの重症例はあまりありませんが、経口摂取した抗原に反応して発症することが多いと考えられます。重度の蕁麻疹は鼻の粘膜が腫れて呼吸も困難になります。抗原は敷料や飼料に混入していると疑われるので、一時的に口カゴを着用し敷料を交換するなど対処するケースがあります。

これらの他にも悪癖の防止など、利用を検討するケースは意外に多いものです。あまり使わないけどなかったら困る、備えあれば憂いなしというものは口カゴ以外にも多々あると思います。病気を起こさないこととともに悪化させないための準備については是非前向きに検討してみてください。